

えでひん

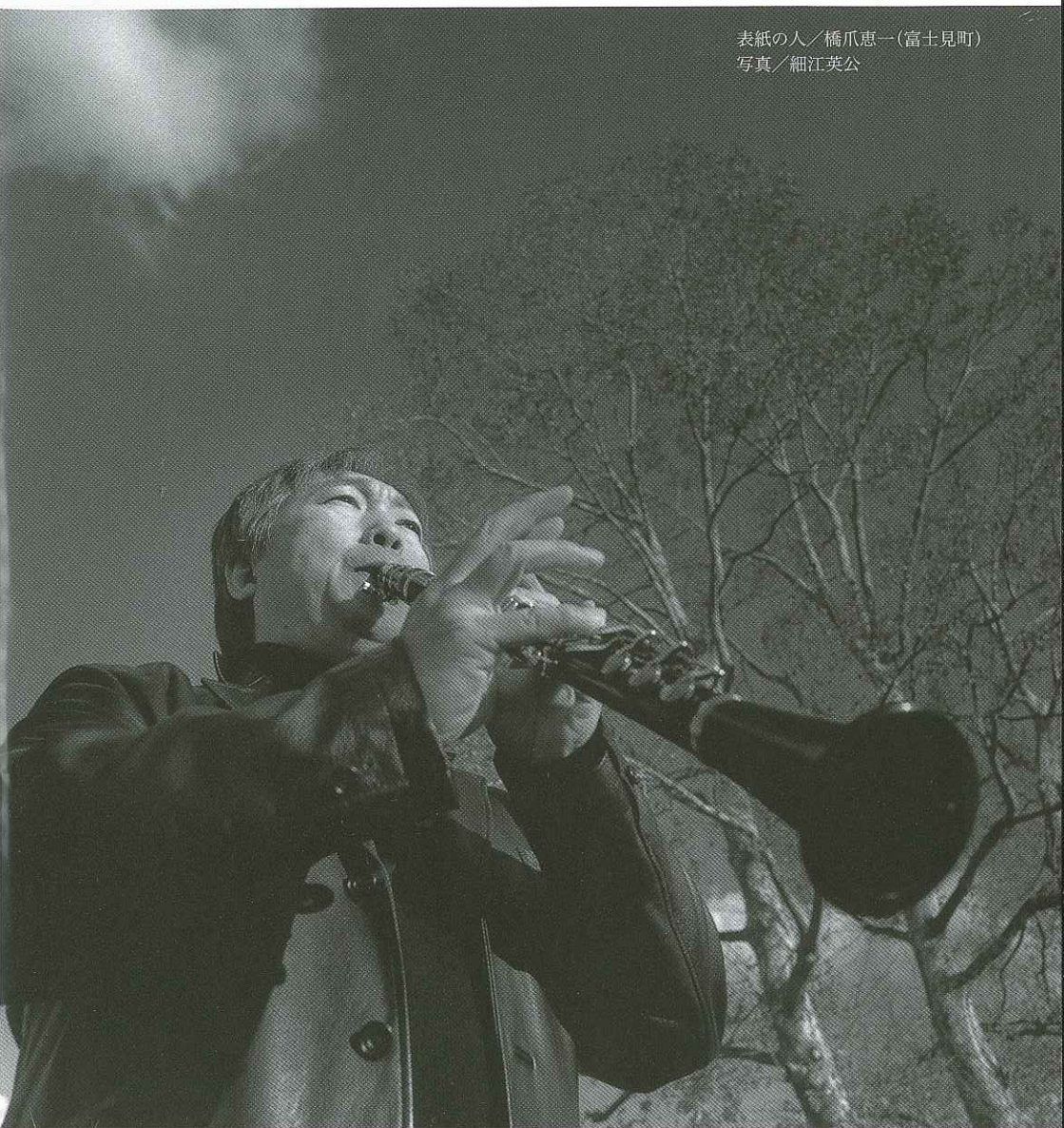
応援します! 《極地研》

【連載】国立極地研究所
太陽系の歴史をさぐる

11

立川と語ろう 立川に生きよう
November 2009
écoutez bien Vol.28 No.300

表紙の人／橋爪恵一(富士見町)
写真／細江英公



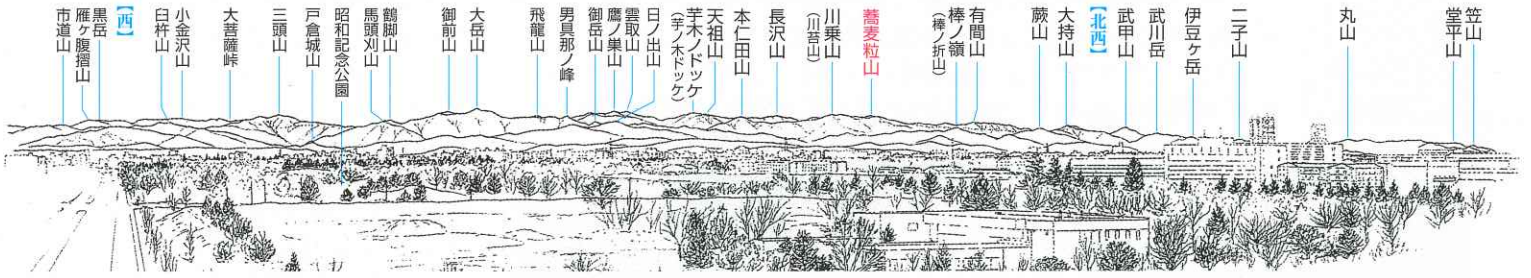
続々・立川から見える山 ④

蕎麦粒山

(そばつぶやま) 1,473m

案内人：守屋龍男

山岳展望図：藤本一美



多摩モノレール 立川北-高松間より

そば粒のような三角形の山

【蕎麦粒山へのコース】

東日原まで車、電車・バスで約2時間。

東日原→2時間30分→一杯水避難小屋→1時間→仙元峠
→30分→蕎麦粒山→1時間→日向沢ノ峰→20分→踊平
→10分→塩地谷林道→1時間50分→川乗橋バス停



東京都と埼玉県の境に蕎麦粒山という変わった名の山がある。蕎麦粒のように三角形の山容をしているからだという。立川から見ると北西の方向に尖った山頂をちらっと見せている。

11月中旬に奥多摩町の東日原からヨコスズ尾根経由で登った。奥多摩の山々は尾根筋に上がるまでは急登の連続だ。ここも急斜面をジグザグを繰り返しながら一気に400m高度を上げる。

一部崩壊している場所を過ぎブナ、ミズナラの林の中を行くと、ようやく一杯水避難小屋に着く。三ツドツケ(天目山)や鷹ノ巣山などの山々を眺めながら、ちょっと早い昼食。心地よい風と赤や黄色で彩られた晩秋の景色の中での弁当はなかなか美味しい。

その後、ほぼ水平につけられた登山道(水源林巡視路も兼ねる)を東に行き、途中から左の尾根道に入る。急登わずかで小ピークに着いた。ここが仙元峠で珍しく小ピーク上にある(ほとんどの峠は鞍部にある)。

峠から一旦急下降して岩交じりの道を登り返すと、巨岩に囲まれた蕎麦粒山頂である。東の方が開け川乗(苔)山が大きく見える。先客は若い学生風の男性一人。バーナーでお湯を沸かしている。名栗の有間山方面から来たようだ。

下山は東側の急な斜面を転げ落ちないように注意しながら下る。下りきると落ち葉が厚く積もったプロムナードのような緩やかな道になる。途中にある日向沢ノ峰の頂きからは展望が大きく開け奥多摩、丹沢、富士の山々がパノラマのように見えた。その先の踊平から塩地谷の林道へ下る。約8km林道歩きをして日もとっぷり暮れて真っ暗になった中、ようやく川乗橋バス停に着いた。

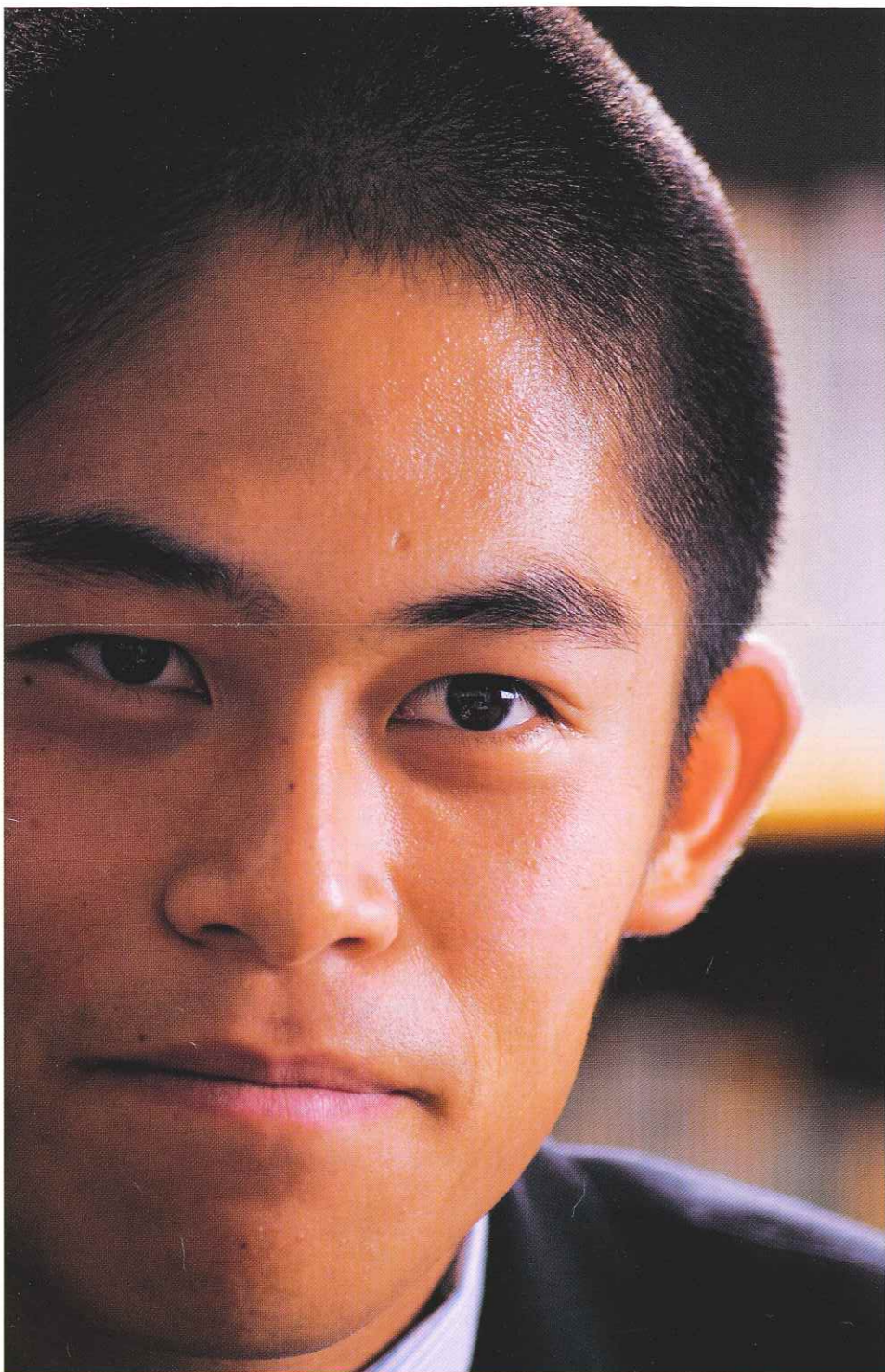
もうひとつの箱根駅伝

箱根駅伝予選会

立川と
語ろう

今年、箱根6区を学連選抜で走った川内優輝さん

秋の風が吹くと、立川には駅伝予選会の空気が漂う。毎年500人以上の学生が立川市街を走り抜ける。ひとりひとりにドラマがある箱根駅伝。昨年、予選会を38位でゴールし、第85回箱根駅伝6区を学連選抜の禪をかけて走った川内優輝さんに話を聞いた。



■川内優輝さんプロフィール

1987年生まれ。春日部東高校出身。学習院大学陸上部時代は、関東インカレ2部ハーフマラソン3位、立川ハーフマラソン6位、上尾シティハーフマラソン3位の好成績を残し、また、大学4年の時、日本学連選抜でニューカレドニアマラソンのハーフマラソンの部に

出場し優勝、東京マラソンでは19位になっている。箱根駅伝には、2年生と4年生、2度学連選抜で出場。いずれも6区を任された。今年は60分を切る好タイムで区間3位に。埼玉県庁に就職、現在は春日部高校定時制主事。生徒と同じ目線に立とうと髪を切った。福岡国際マラソンに出場予定。

清水 今年はインフルエンザの関係で20人までエントリーできるんですけど？

川内 はい。でも走るの12人です。

清水 今年の学習院はもうエントリーできるのですか？ 去年は大変でしたね。

川内 はい。うらやましいことに、今年はもう10人揃ったので。

清水 でも、今年も出られるか出られないかという大学多いんじゃない？

川内 多いと思いますよ。2年前に学連選抜と一緒に走った大学でも、あれ以降予選会に出られていない学校がありますから。予選会も実は標準タイムというのがあって、5000m17分もしくは10000mを35分切らなきゃ出られない。強豪校からすれば、17分なんてC軍でもD軍でも走ります。みんな14分台、中には13分台がいますから。学習院あたりだと、意外と17分切っているのはむしろ少なくて。切ったとしても去年の選手のように16分59秒とか。でも逆に、その標準タイムがあるから、それを切って出場できるというのが嬉しいですね。

清水 でも、あなたたちのような学校の方が…

川内 多いですよ。大多数です。実際そうなんです。箱根を狙えるような学校は、予選会を走っている中でも20ぐらい、いや15ぐらいですね。この20校辺りに、やっぱり壁はありますね。

清水 なるほど。

川内 もうスタートから違います。集団走するところは集団走でがちり。

清水 だから、ゴールと同じユニフォームがドット入って来るわけね。

川内 そうです。うちの学校のようなところは走力がバラバラなんで、ドンと始まるともうグッチャグチャです。

清水 去年は学習院大学と一橋大学と取材させていただきました。強豪校と違って、やっとの思いで10人揃えた大学に興味があったんです。昨年47校もエントリーするのを見て、箱根へ行く可能性もない学校がどうしてここへ来るのだろうと素朴に思ったんです。

川内 僕も大学へ入った時に先輩が「箱根、箱

根」って言うので、すごいなあと思っていたんです。そうしたらその「箱根」は、実は予選会だった。可能性のない大学にとっては、この予選会が「箱根」なんです。始めのうちは箱根でもないのに「箱根」っていうことに違和感がありました。でもやがて「箱根」っていう所に出られなくても予選会に出ることで、「箱根」を走る人たちと同じ舞台で戦えることが嬉しい、大歓声の中を走れることがひとつの目標なのかなと。

清水 初めてGマークのユニフォームを見たとき、「え、こんなところに学習院が来るの？」って思ったわよ。母校ですから嬉しいけれど、意外な感じで。

川内 はい、学芸大さんと間違われたこともあります。

清水 スタートから応援が違うのね。職の数だって、本気の学校は全然違うし。学習院って職あるの？

川内 僕が出るまでありませんでした。でも僕が箱根を走るとき、学校で100本作ってくれました。

清水 よかったわね。でも100本も作って誰が持つの？ 応援に来てくれたの？

川内 はい。本選にはOBの方々や、学生部の方、学長も来て下さいました。

清水 そう！ 今は大学の陸上長距離っていったら、箱根駅伝！ 箱根って特別なよね。

川内 僕なんかだって大した選手ではないですけど、箱根へ出たってだけでずいぶん注目されました。

清水 学連選抜に選ばれるんだから、やっぱり大した選手なのよ。しかも2回も出たでしょ？

川内 はい。2年生の時に箱根に出たら、3年生の時にはテレビカメラがずっと1台ついていて、精神的にやっぱり集中できないというか。

ああ、これなんだ！って思いました。強い選手なんかは、ああやってテレビに追いかけられながらも集中力保つわけです。本当にむずかしいって思いました。僕は全然ダメでしたから。

3年でダメだったから、去年の予選会の時はテレビカメラは寄ってくるどころか、完全無視(笑)だったので、走りやすかったです。

清水 3年のときはそんなにひどかったの？

川内 強豪校は順番を知らせる学生を用意していて、今は何番とか。始め突っ込んで走れなくなって、順番を見ているとどんどん落ちて行くんです。そのうち自分が何番走っているのかわからなくなっちゃって。

清水 で、結局何番だったの？

川内 180番とかじゃなかったかな(苦笑)。だから予選会って、それなりに強い人でもあまり意気込みすぎると、急にガクッときて「え、どうし

てこの選手が？」っていうこと毎年ありますよね。

清水 急に走れなくなる、あれって何がどうなっちゃうの？

川内 「あれっ？」って足が急に止まるんです。体が動かない！ってなる。僕なんか5kmの地点でそうなっちゃって。

清水 5kmってどこ？ まだ自衛隊の中？

川内 はい。その時点でもうきつくて。駐屯地の中は1周2kmちょっとなので、5kmというところから市街地に出て行くところ。もうほんとにダメだったんですよ。ダメだって思ったら、もうダメですね。

清水 ダメなんだ…。

川内 まだダメじゃなかったんですよ、タイム的には。でも、長距離は精神的なものが大きいんですね。10キロの地点ではもうどうしようもなくて。

清水 そうならないためにはどうしたらいいの？

川内 監督にもよく言われるんですが、頑張りすぎるなって。いかに心に余裕をもって走ることが大事だと思います。

清水 今年のお正月走る前にテレビに映っていたけれど、とつてもニコニコして超余裕でしたよ。

川内 いろんな人に言われます(笑)。2回目だからどうか、君だけなんとかとか。

清水 そりゃ言われるわよ、笑ってるんだもの。早く走りたかって体から表れていたわよ。

川内 それはありましたね。大舞台で走るチャンスを与えられたことが本当に嬉しかったです。練習もそれなりに積んでいたんで、絶対60分は切れると思っていましたし。あの時は前半自直し過ぎて遅かったんですよ。でも遅く入った分辛くならなくて、宮ノ下でもまだ行けるって。そこから農大を追いかけて。

清水 農大はかわいそうだったわね。脱水のような状態になるのはなぜなの？

川内 箱根ぐらいの区間距離は、あそこに出る人たちにとっては何でも無いことなんです。それなのに状態が悪くなるというのは、精神的なものがすごく影響します。やはりプレッシャーとか前の晩、緊張からあまり眠れなかったりとか。そういうので体調が狂ってアップを多めにやり過ぎちゃったり、または逆に少な過ぎてとか。

清水 禪は繋がなきゃなら



2008年箱根駅伝予選会

ないしね。

川内 ええ、逆にあれは重いんです。軽いんですけど、重いんです。強豪校は全員で本当に寝食を共にしてこの駅伝にかけてきています。強豪校の駅伝にかける気持ちは並々ならぬものがあると思います。地方から出てきていてお金もそれなりにかかっているし、学校から援助があるっていつでも、やはりかかるものはかかります。強豪校には高校の時にいい記録を出している人がいっぱいいて、こんなじゃダメだっという思いとか、箱根に出るために大学に入ったんだという思いとか、いろいろあってそれだけ真剣になるんだと思いますね。

清水 一方本選に行かない学校出身者として予選会を語るとうなるのかな？

川内 うちのような学校は本選へ出ようではなくて、チームの記録を超えようという目的でやっているんです。僕なんかも現役の時、箱根へ行こうではなくて、みんなで25番以内を目指そうというような感じでやっていました。そのような違った目的でやっている人たちにもスポットを当ててもらえればと思います。応援の人も速い方だけ目がいって、速い人が通り過ぎたからさあ行こうじゃなくて、意外と最後の方を走っている人の方が、一生に一度の「箱根」なのでそういう人の方が応援も心に響くんだと思います。



太陽系の歴史をさぐる

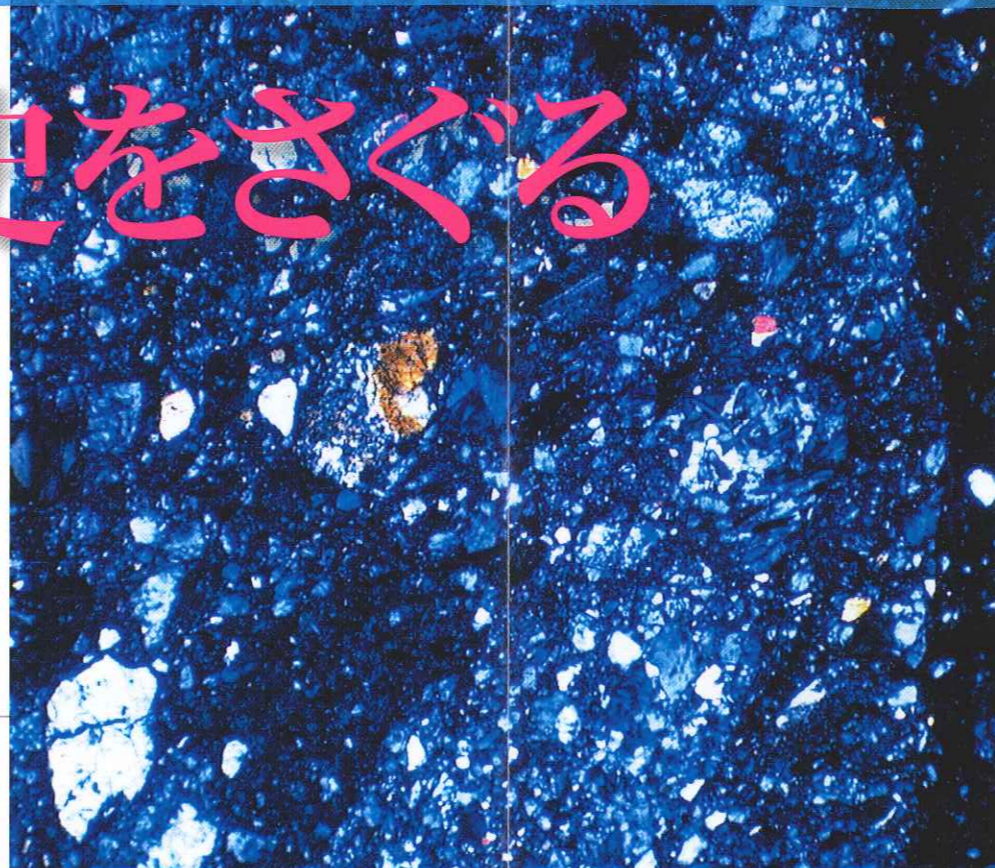
隕石は遠い過去からの手紙

長野県出身。農家の長男で、小学生の頃は学校から帰るとザルを持って近くの川で毎日遊んでいたという。川の石を集めるのが好きな少年は、親戚を通して南極の石を手にした。既にこの頃から南極に縁があったのだろうかと思つて。この11月に出発する第51次隊で5回目の南極となる。

案内人 **小島秀康** 国立極地研究所 研究教育系教授

プロフィール

国立極地研究所 研究教育系地圏研究グループ・教授、隕石キュレーター。極域情報系極域科学資源センター。南極観測隊が採集した隕石 16200 個は数が多いだけでなく、ほとんどの隕石種を網羅している世界最大のコレクションのひとつ。これらの隕石すべてを視て、順次分類を進め、その分類学的な特徴を明らかにし、南極隕石データベースを更新し続けている。世界で最も多くの隕石を視ている一人。



Yamato-86032 を偏光板 2 枚で挟んで、顕微鏡で拡大したもの(写真提供: 国立極地研究所)



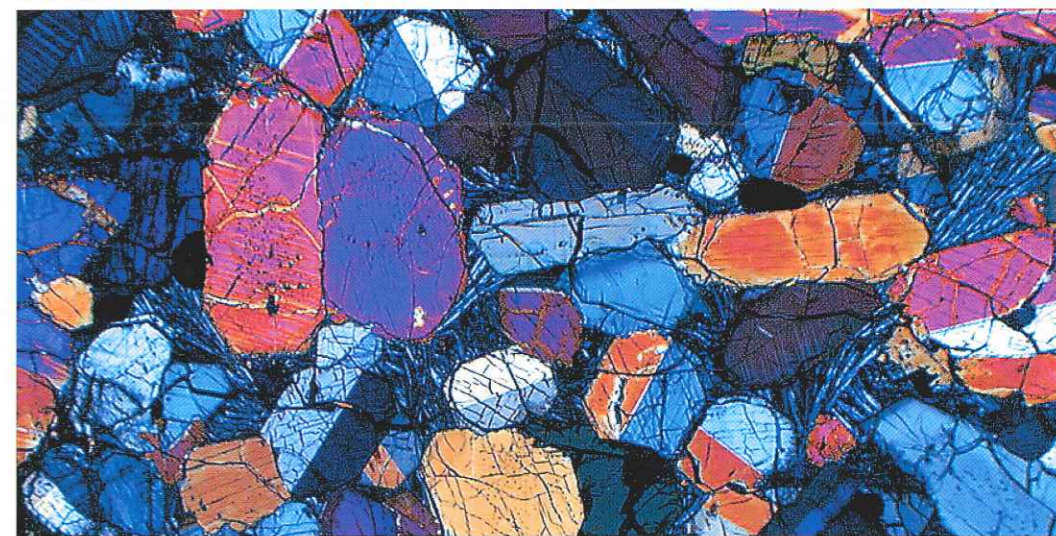
Yamato-86032
斜長岩質角礫岩という種類の岩石で、いろいろな特徴から、月の裏側から飛来したと考えられている。



Yamato-740077 L6 コンドライト
大気圏突入時に空気との摩擦によって融けた表面の状態がきれいに残っている隕石。



Yamato 000593
ナクライトという種類の火星起源と考えられる岩石。粘土鉱物を含むことから、火星に水が存在した証拠になっている。



Yamato 000593 を偏光板 2 枚で挟んで、顕微鏡で拡大したもの(写真提供: 国立極地研究所)

隕石の研究を始めたのは?

最初に南極に行ったときからです。ですから1978年11月に出発した第20次隊から。その時は地質調査と隕石がメインのプロジェクトでした。やまと山脈というところに旅行に行って、4ヶ月くらい探査をして、3600個くらい隕石を見つけました。隕石の探査は本来夏だけで済むのですが、南極にしらせが着くのが12月20

日過ぎ。それから準備、現地に向けて出発するのが25日辺りになってしまうんですね。現地到着が1月の10日頃。今度は帰りのしらせが南極を離岸する日が決まっているので、現地で仕事ができるのが20日間くらいしかなくなってしまう。越冬すると3ヶ月くらい調べられるので、ずっと越冬しています。

先月は岩石のことを教えてください。隕石を調べると何がわかってくるのですか?

隕石も岩石なので、地質の一部と考えるとわかりやすいかもしれません。地質学は一種の歴史学。地球上で一番古い石は40億年くらい前のものですが、太陽系の年齢は46億年。太陽系ができた時にできた石が、すぐに死んで、それ以来変化していない。それが隕石です。

地球はというと、その隕石と同じような材料が集まってこれだけの大きな星になり、プレートテクトニクスがあって、地表の大陸は移動して合体と分裂を繰り返してきた。古い岩石はマントルの中に沈み込んでしまって、リセットされて新しい溶けた状態になってしまう。つまり本当の意味での古い岩石が残っていない。40億年より前のことを調べようとすれば、地球外の隕石を主とする岩石を調べなければいけないということです。そういう意味でいえば、隕石は「過去からの手紙」であるといえるわけです。

起源のわかっている隕石は?

火星と木星の間にある小惑星帯には、小さ

いものだと直径数百m、大きいと直径1000kmの小惑星があります。全部太陽を中心とした軌道を回っていて、軌道がわかっているものだけでも30万個。それが、母天体と言いますが、どの小惑星から来たかというのがわかっていない。ただ1種類わかっているのがベスタといって、直径が500kmくらいの小惑星。それに対応するような隕石が何種類かあります。それらはベスタから来たのかもしれないということになっています。

他には隕石と呼んでいますが、小惑星以外から来たのは月の石と火星の石。隕石の99%以上が先ほどの小惑星帯から来ていますから、特殊なものとして火星の石と月の石。極地研にあるのは、火星の石が11個。月が9個。本当は、水金地火木の水星とか金星からも来ていていいはずなのですが、まだ見つかっていない。水星や金星は地球型の惑星なので、海が無いだけで表面まで岩石ですから。

月とか火星の石は、珍しいんですね?

月の石は世界に100個くらいありますが、裏側はほとんどないです。月の石自体が珍しいですよ。万博の時、月の石ひとつであれだけ人を集めたじゃないですか。僕なんか月の石に触れるってすごいことだと思うのだけれど、以前あるイベントで月と火星の石に触れるコーナーを設けたけれど、それほどでもなかった。極地研にある一番大きな火星の石なんて値段したら30億円ですよ。

そんな貴重な月の裏側の石はどこで拾ったんですか?

やまと山脈で拾いました。あれは1986年27次隊。裏側の石だとわかったのは1990年代はじめころだったでしょうか。その頃「そうじゃないか」と言われ出した。というのは、アポロ11号から13号を除いて17号まで、月に着陸して持ちかえった岩石は全部表側なんです。オペレーションの関係で表側しかできなかった。裏側の石は持ち帰られていない。ですからどんな元素が多いとか少ないとか、表側の石の特徴はわかるわけです。それに照らし合わせると、Yamato-86032の特徴は表では収まらないという話になって、じゃ裏じゃないかと。人工衛星を使って、月の全球の、どんな元素がどんな所に分布しているかということ調べた。最近の「かぐや」がかなりの程度調べてあって、元素の分布はマッピングできているんです。だからそれに合わせれば、だいたい場所がしぼれてきますよね。

月から飛び出したのがいつ頃かということもわかる。地球上にいつ落ちたかということもわかる。

どうしてそんなことがわかるんですか?

書いてあるんです(笑)
「宇宙線照射年代」という言葉があります。照射年代っていうのは宇宙線をいつ浴び始めたのかということです。それはある放射性同位体、要するに宇宙線が当たるとできる放射性元

素ですが、大きな天体の深いところになると、宇宙線が当たらない。つまり放射性同位体ができない。ところがそこに他の天体がぶつかって、ある大きさの石のかけらになって宇宙に放り出されると、今度は宇宙線が当たり続けますから、それに伴ってある元素は増え続けるんです。それを調べることで、いつその天体から離れてかけらとなったかということがわかります。たとえばYamato-86032は、1000万年前に月を離れて、地球に落ちたのが8万年前。

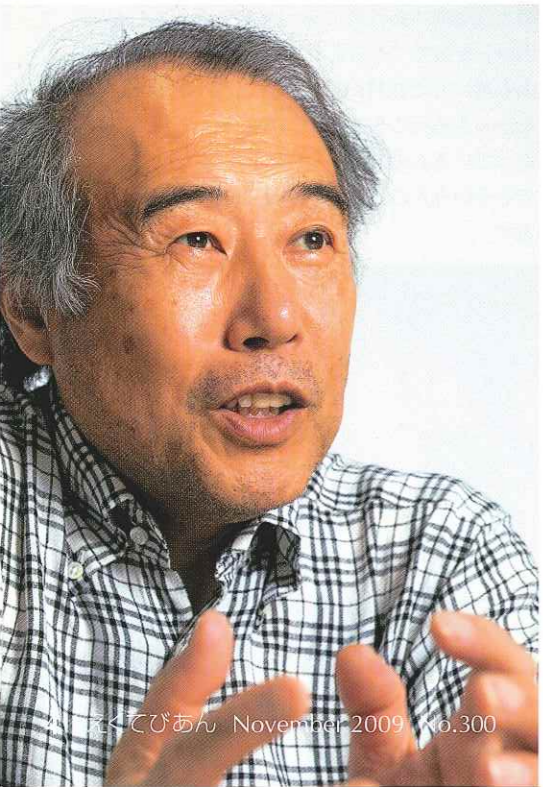
自然を相手に研究を続ける訳

温暖化し続けているから氷期が来ないのではという心配もあるが、たとえば温暖化することによってバランスが崩れて、それが引き金になって寒冷化することも考えられる。気候って

ある周期で変わっていて、そのサイクルにはいろいろな周期がある。たとえば100年周期とか1000年周期の変化があるとしたら、100年以上、1000年以上観測しなかったらその周期がとらえられないでしょう。まず未来を予測するには過去を知らないとい。

ただ過去とひとつ違うのは、人間が生活活動によって大量の二酸化炭素を出してしまったということ。でもそれも地球全体のことからみたら大したことないのかもしれない。何十億年というスパンでみれば、自然保護自然保護っていうけれど、もちろん僕も言いますが、そんなおこがましいことよく言うなと思えますよ。

人間なんて、地球の表面にうごめいている小さな生命体にすぎないんですから。



初冬の花

十一月は旧暦でいえば、だいたいの十月に当たる。旧暦の十月を神無月と呼び、ご存じのように八百万の神々がみな出雲に旅立られるので、出雲地域以外はどこでも神が不在だという意味。

立冬を過ぎて、うらうらとした、いわゆる「小春日和」の日も多いが、ふいに冷たい風が吹き荒れる日もあり、その音を聴いていると、まるで神々が天空を旅しているような感じがする。

さて、東京ではこれから紅葉のピーク。まだ断然秋の気分なのだが、季節に敏感、というよりかなりストイックな私たちが俳人は、「さすがに冬めいてきたわねえ」などと言いつつ歩くことになる。この見事な紅葉は「冬紅葉」として詠まれるのだ。

この時期、冬の紅葉以外に、吟行で出会うのを楽しみにしているものがある。その一つは茶の花。玉川上水を吟行していると、立川にも案外、茶畑が多いのに気づく。きちんと手入れされた茶畑の畝は整然として美しく、冬の間も葉はつやつやとしている。でも、その茶畑では、まず花を見

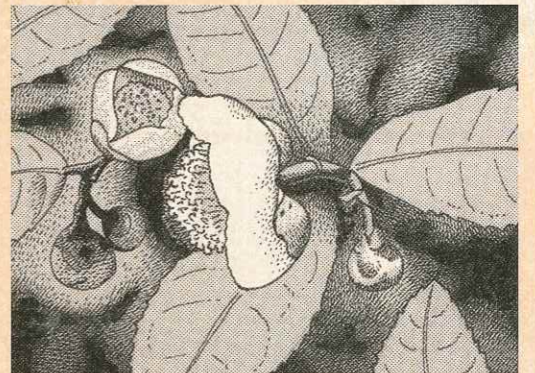
ることが出来ない。私たちが花を見つめるのは、もう手入れされなくなつて荒れた茶畑や、境界の植え込みなど。

初冬の淡い日差しの中で、はち切れそうな茶の花のつぼみに出会うと私たちは歓声をあげる。ツバキ科の茶の花は白く、直径は三センチばかり。黄色い雄蕊は、花びらから溢れるばかりにひろがって元気がいっぱいだ。

現役茶畑の花を見ないのは、つぼみがつく前に、きちんと刈り込むからだろうか。花を付けると翌年の秋結実する。

そして、もう一つ楽しみなのは、同じツバキ科のサザンカ。これは漢字で書くと「山茶花」。路地を歩いていて、ふつとバラに似た淡い香りがしたら、どこかにサザンカの垣根があるはず。

いろいろな種類の園芸種があり、香りのないものもあるが、一重の薄紅色のものが自生種に近いのだろうか。ツバキとサザンカはともによく似ている。俳句ではツバキは春、サザンカは冬の花だが、真冬に咲き始めるツバキもあるのだ、いよ



イラスト：小林木造

いよ粉らわしい。で、「季節、命の俳句初心者集団を引率している私は、サザンカを見つけると立ち止まって、レクチャーをすることにしている。「これはサザンカ。ほら、こんなに花びらが散つてるでしょ。花びらがばらばらに散るのがサザンカ。ツバキは花ごとほとりと落ちるんですよ」。そして、「ほら、ちよつぱりいい匂いがしない？」と鼻を近づけてみる。真剣な顔をして垣根に鼻を突っ込んでいるおかしな人たちがいたら、それは私たちがかもしれない。

うすら

街の話題

第36回 自衛消防隊 訓練審査会



Cコース2年連続優勝の真如苑女子隊

2009年9月17日(木)立飛企業株式会社野球場で、第36回自衛消防隊 訓練審査会が行われました。ABCの3コースに分かれて合計23チームが、練習の成果を披露しました。総合優勝は連覇の立飛企業(株)。きびきびした動き、はっきりと大きな声で避難を告げる姿に、地域の安全を感じました。

Aコースは優勝 陸上自衛隊東立川駐屯地 男子隊、準優勝(株)一如社、3位 新立川航空機(株)。Bコースは優勝 立飛企業(株)、準優勝 真如苑 男子隊、3位 グランデュオ。Cコースの優勝は2年連続の真如苑 女子隊、準優勝が(株)伊勢丹立川店、3位が(株)ヤクルト本社中央研究所。

FMたちかわに <ベティの小部屋>誕生!

2009年10月15日から毎月1回、FMたちかわ「アクロス ザ モーニング」にえてびあんのコーナーができました。その名も「ベティの小部屋」。命名したのは「アクロス ザ モーニング」のパーソナリティ 今泉剛さん。このコーナーではえてびあん最新号のお知らせと、ベティのお勧めスポットをお届けします。当面の課題は、「ベティが小部屋に入りられるかどうか!」。ただいまベティはダイエット中。

このコーナーへのお問い合わせ、ご意見は message@tamatebakonet.jp までどうぞ。



小部屋に入っていくベティ

この人この店 (76)

中華料理 SANFUJI (サンフジ)

小山 利二さん



おいしい上に健康を考えてくれるから嬉しい。それがサンフジの中華料理です。「美容と健康をテーマに」しているだけあって、カロリーや塩分を控えるだけでなく、麺にもひと工夫。コラーゲンやミネラルも摂れるすぐれもの。胡麻にこだわった担々麺。一口入れるとぴりりと辛くて、濃厚なのにサラッと広がる胡麻風味。辛さは好みで変えられます。ソースまで全部食べたいエビチリや、フカヒレの旨味がおいしいあんかけご飯。本格的な中華料理をお手頃価格でいただけ、大満足のお店です。店長の小山さんはいつもニコニコ。お客様の健康を本気で考えています。「この次はおかゆを食べてみて下さい。疲れた時にはコレが一番。食欲が出てきたと皆さんおっしゃいますよ」と気遣ってくれます。おなかがいっぱいでも食べたいのがスイーツ。手作りのアイスクリームがメニューに並んでいて、目移りしそう。7名から送迎バスもあって、至れり尽くせりのサンフジでした。



●〒190-0002 立川市幸町 2-3-5 ●TEL 042-536-3813 ●営業時間 11:30 ~ 23:00 (休憩 15:00 ~ 17:00) ●定休日 木曜日(夜は宴会可) ▶多摩てばこネット(お店のコーナー)にも掲載中。



えてびあんの輪

えてびあんは リストのお店にいつもあります。 今月は 柴崎町・錦町のお店です。

- 柴崎町 ジョイフルプラザ 529-2772, Café COLORADO 526-2285, 日本空手道 佐藤塾 548-7460, 株式会社立川紙業 527-6111, Fashion You Me 523-1640, 石原薬局 523-4067, お菓子工房 ティーコジー 525-6366, サイクルハウス 輪輪館 522-8100, ビジネスHOTEL クボタ 522-1122, いなげや 立川南口店 526-2947, 株式会社正盛堂 522-2328, いなりすし・のり巻きすし 松月 523-4758, 小林歯科クリニック 527-8217, ビューティーサロン ウィスタリア 527-1116, オリオン書房 サザン店 525-3111, 錦町 医療法人財団 天祐会 三船クリニック 523-6693, 西武信用金庫 立川南口支店 529-1311, 多摩信用金庫 南口支店 528-2211, りそな銀行 立川支店 522-4161, オリオン書房 アレア店 521-2211, ほっとすべーす 中屋 522-2932, 立川ワシントンホテル 548-4111, サンカメラ 522-3336, Coffee Shop LARGO 525-6704, パッケージプラザ カサイ 522-8601, 株式会社 けやき出版 525-9909, 手打ちぎょうざ工房 522-4770, 喫茶 ギャラリー花 524-3668

jorakugajo

真如苑提供番組<常楽我浄>

スカパーフェクトTV 216ch, マイテレビ アナログ 11ch, デジタル 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

立川・多摩の話題いっぱい!

わたしとあなたとたちかわを結ぶ街ナビネット 多摩てばこnet

Tamatebakonet www.tamatebakonet.jp/

立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F TEL/042-528-0082



かたこと

街中でも木々の葉が色づき、どこからかキンモクセイが香ってくると、いよいよ晩秋。「えてびあん」11月号をお届けします▼やがて木枯しの季節。葉を落した樹々の姿は厳しさに耐えた美しさがあります▼表紙の橋爪恵一さんのクラリネットと、立川の変化を見守ってきた三本のスズカケ。木と音楽が響き合うようです▼年間企画「立川の世界-!」国立極地研究所からは、隕石の専門家である小島秀康さん▼南極で発見される隕石は小惑星や、月や火星からもやってきた<過去からの手紙>▼数千円とか

数十億年というスケールのお話に人類の小ささを思わされます▼今年も立川で行れた箱根駅伝予選会。「立川と語ろう」は、昨年学習院大学4年で予選会を走り、箱根では学連選抜6区、復路の山下りに力走を見せてくれた川内優輝さんです▼本号で「えてびあん」は通算300号となりました。去る7月号で創刊から満25年。合併号や休号もありながら重ねてきた号数です▼これも読者の皆様や支えていただいた方々のおかげです。深く感謝申し上げます。そしてさらに新鮮な話題や感動をお届けできるよう、気持ちを新たにまいります。

えてびあん (C) 11月号 第28巻 通巻300号 平成21年11月1日発行

発行 有限会社 えてびあん 〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F TEL. 042-528-0082 FAX. 042-528-0065 発行人 黒須環 編集人 芳賀敏博

編集スタッフ 大久保清志/清水恵美子/中藤子 デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES) AMMNET design factory 五来孝平/中村伸 写真 スタイリスト 小川町子 印刷 株式会社 大廣社

無断転載を禁じます。

表紙の人

橋爪恵一さん(富士見町)

クラリネット奏者。立川の街を見続けてきた三本のスズカケノキが伐られようとしたとき、アーティストたち市民の保存運動で残った話に共感。2006年からクラリネット、オーボエ、ファゴットの三木管楽器を軸に、音楽とアートを結びつけたMAT (Music and Art in TACHIKAWA) 活動を始めた。画家や彫刻家とともに開いてきたコンサートはこの12月で22回を数える。ゆかりの「スズカケ三兄弟」下での撮影。曲はもちろん名曲「鈴懸の径」。

緑町・たちかわ中央公園で

写真: 細江英公



本当の私に帰れる場所

映画『魔女の宅急便』宮崎 駿 監督

「パンのある風景」と聞いて思い出すのはアニメ映画・魔女の宅急便。主人公・キキは13歳になると魔女の修行のため、箒に乗って新しい街へ。はじめは真新しい環境に胸を躍らせ好奇心旺盛のキキ。でもある時、心の壁にぶち当たり飛び方を忘れてしまいます。

そんなキキを支えてくれたのは、キキの下宿先であるパン屋の奥さんオソノさん。沈んでいるキキに何か特別アドバイスをするとかではなく、優しい笑顔と焼きたてのパン、そしてパンの甘い香りが包んでくれるような…そんな中、徐々に自分を取り戻してい

きます。

本当の自分に帰りたい時、挫折を乗り越えて成長した自分自身に会いたい時、ふと立ち寄りたくなる温かい店員さんの笑顔と白いハイジのパンがあれば、「落ち込むこともあるけれど…私、この街が好きです!」と映画のエンディングで元気にキキが放つ言葉のように、故郷から離れた街で、また一步踏み出す勇気を持つてる気がします。

福岡出身・シンガーソングライター
古瀬陽光

次回「パンのある風景」4は2010年1月号に掲載されます。

今月のパン

ヴァイツェンブロート

TEL 042-527-2176

営業時間 9時～19時30分

立川市錦町1-6-19

定休日 日曜日

(多摩でばこネットとっておきのお店に掲載中)